

ナンバリング	B①02	科目名	保育原論		担当教員	伊藤 恵里子	
ディプロマポリシーとの関連性	①	担当形態	単独				
テキスト	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「保育用語辞典」ミネルヴァ書房			単位数 授業形態	2単位 講義	開講時期	前期
<b>講義概要</b> <b>■到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の意義とその目的を説明できる。</li> <li>・保育に関する法令及び制度を理解し、説明できる。</li> <li>・保育所保育指針における保育の基本について理解し、説明できる。</li> <li>・保育の思想と歴史の変遷を理解し、これからの保育の課題について説明できる。</li> </ul> <b>■授業の概要</b> <p>保育の意義及び目的について理解し、保育所保育指針に書かれている内容を学び、理解する。また、保育の内容と方法、法令や制度の基本、歴史的変遷や思想について学んだ上で、保育の現状と課題について考察する。講義の内容を理解してもらうために、定期試験や課題、小レポートの他、毎回授業の始めに小テストを実施することを予定している。</p> <b>■授業計画</b> <p>第1回 保育の理念とその概念  第2回 保育における子どもの最善の利益  第3回 保育と子ども家庭福祉  第4回 保育の社会的役割とその責任  第5回 保育及び子ども家庭福祉に関する法令と制度  第6回 子ども・子育て新制度と保育の実施体系  第7回 保育所保育指針における養護  第8回 保育所保育指針における保育の目標と内容  第9回 保育所保育指針における保育の方法と環境  第10回 保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の循環と子ども理解  第11回 諸外国の保育思想とその歴史的変遷  第12回 日本の保育思想とその歴史的変遷—近代—  第13回 日本の保育思想とその歴史的変遷—戦後—  第14回 諸外国の保育の現状とこれから  第15回 日本の保育の現状と今日的課題</p> <b>■準備学習</b> <p>授業内配布のレジメを読み込み、次回までに内容を記述できるようにしておく。</p> <b>■評価方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験 — 50%</li> <li>・授業内課題 — 30%</li> <li>・授業内小レポート — 20%</li> </ul>							
参考文献	「Workで学ぶ保育原理 改訂版」わかば社			特記事項	【課題等へのフィードバック方法】 ・試験後、模範解答を提示して解説を行う。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修 保育士資格必修 社会福祉主事任用資格選択必修			幼保	保育の本質・目的に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容							